

2019年7月30日（火）

早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科
小野田弘士

アンケートによる重みづけの方法

掲題の件につき、参考資料を提示する。

<LCA (Life Cycle Assessment) 調査主旨>

21世紀に入り、地球環境の保全と資源枯渇の回避は喫緊の問題となっています。LCAとは、製品及びサービス（以下、製品と表記する）における資源の採取から、製品の製造・使用・リサイクル・廃棄・物流等に関するライフサイクル全般にわたって使用する資源や排出物などの総合的な環境負荷を客観的に評価する環境問題の考察手段の一つであります。LCAは、①アセスメントの目的と範囲を設定、②製品ライフサイクルの個々の段階における原料・エネルギーのインプットと、排出物のアウトプットを分析（インベントリ分析）、③インベントリ分析の結果を環境負荷として定量的・総合的な評価（インパクト評価）を実施、④インタープリテーション（結果の解釈）を行い、目的の遂行、の4段階から構成されるものです。

こうしたLCAの手法開発が、先進諸国で行われております。環境負荷を客観的に評価するには、どのような環境インパクトがあり、それをどのような尺度で評価するかがポイントとなります。

本アンケートは評価の尺度はいかにあるべきかどうかを検討することに役立てます。

問1. 9つの環境影響を以下の表に示します。あなたが最も重要と思われるものから順に1～9までの番号をつけて下さい。

また、各環境影響に、合計が100になるように重要度を割り振って下さい。

環 境 影 響									
	エ ネ ル ギ 1 枯 渴	地 球 温 暖 化	オ ゾ ン 層 破 壊	酸 性 雨	資 源 の 消 費	大 気 汚 染	海 洋 ・ 水 質 汚 染	廃 棄 物 処 理 問 題	生 態 系 へ の 影 響
順位									
配点									計 100

問2. 表にあげた9つの環境影響をA対Bで比較した場合、どちらがどれくらい重要かを判断し、別表の重要度の定義からそれに該当すると思われる尺度を選択し、記入して下さい。同じ尺度を何回使っても構いません。また定義された重要度の中間としたい場合には、尺度の中間の値（1/8, 1/6, ……., 6, 8）を使って下さい。

例：Aのエネルギー枯渇とBの地球温暖化を比較した時、Aのエネルギー枯渇の方がかなり重要であると思われた場合は、上から1番目、左から2番目の欄に5と記入して下さい。

環 境 影 響		B								
		エ ネ ル ギ 1 枯 渇	地 球 温 暖 化	オ ゾ ン 層 破 壊	酸 性 雨	資 源 の 消 費	大 気 汚 染	海 洋 ・ 水 質 汚 染	廃 棄 物 処 理 問 題	生 態 系 へ の 影 響
A	エネルギー枯渇	1								
	地球温暖化	—	1							
	オゾン層破壊	—	—	1						
	酸性雨	—	—	—	1					
	資源の消費	—	—	—	—	1				
	大気汚染	—	—	—	—	—	1			
	海洋・水質汚染	—	—	—	—	—	—	1		
	廃棄物処理問題	—	—	—	—	—	—	—	1	
	生態系への影響	—	—	—	—	—	—	—	—	1

重要度の定義

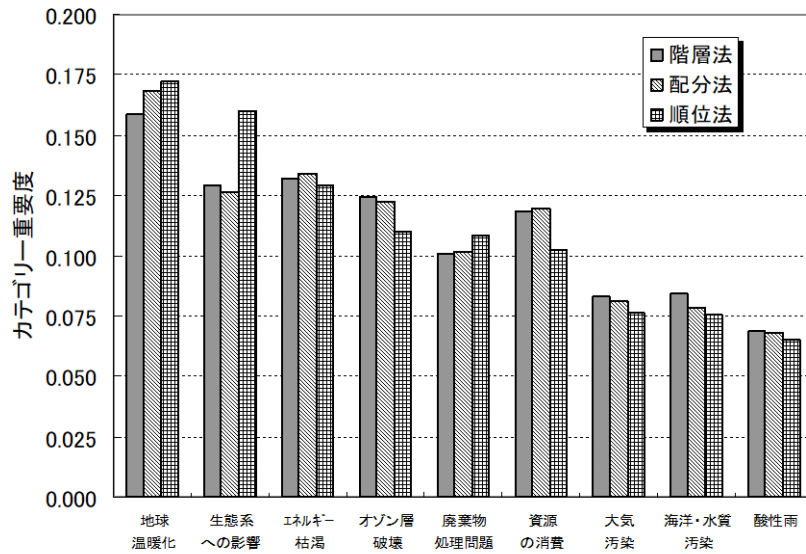
尺度	定 義
9	Aの方がBに較べて極めて重要
7	” 非常に重要
5	” かなり重要
3	” やや重要
1	同じくらい重要
1/3	Bの方がAに較べてやや重要
1/5	” かなり重要
1/7	” 非常に重要
1/9	” 極めて重要

(8, 6, 4, 2, 1/2, 1/4, 1/6, 1/8は中間の時に用いる)

以上

ご協力ありがとうございました。

(調査結果の一例)



カテゴリ重要度の回答形式間の比較 (国内LCA実施者)

